様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	九州国際情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人九州国際学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	「令和４年度貸借対照表」を学校事務室にて備え付け、公表している。
収支計算書又は損益計算書	「令和４年度収支計算書」を学校事務室にて備え付け、公表している。
財産目録	「令和４年度財産目録」を学校事務室にて備え付け、公表している。
事業報告書	「令和４年度事業報告書」を学校事務室にて備え付け、公表している。
監事による監査報告（書）	「令和４年度監査報告書」を学校事務室にて備え付け、公表している。

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
工　業	工業専門課程	情報システム科 ｴﾝｼﾞﾆｱｺｰｽ	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
２年	昼	1726 単位時間／単位	651 単位時間 ／単位	1075 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
			1726 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
60 人 （情報ｼｽﾃﾑ科総定員）	37 人	0 人	6 人	1 人	7 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

シラバスの作成手続きに関しては、年度前に学内の検討委員会で検討したうえで、共通のフォーマットを策定し、作成している。

また「学生の手引き」に掲載して、入学時期に行うガイダンスにおいて周知を図っている。

成績評価の基準・方法

（概要）

成績評価を A～D の 4 段階で行っている。

成績分布において、下位 4 分の 1 が D に相当する。

卒業・進級の認定基準

（概要）

【進級条件】

① １年次の各科目毎の出席率 90%以上であること

② １年次の各科目毎の成績評価がすべてＣ以上であること

③ １年次の検定取得状況が良好であること

④ 学費等の納入が完了していること

【卒業条件】

① 卒業年次の出席率が 90%以上であること

② 原則として、卒業年次の各科目毎の成績評価がすべてＣ以上であること

③ 学費等の納入が完了していること

※上記に加えて、進級・卒業条件として、該当レベルの認定試験に合格、若しくは同等レベルを要していなくてはならない。認定会議においてその認定を行う。

学修支援等

（概要）　選考料免除制度、指定校推薦制度、コスメット奨学生制度、コスメット特待生制度、マスター特待生制度、兄弟姉妹奨学生制度等により学修支援を実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
20 人 (100%)	0人 (0%)	18 人 (90%)	2 人 (10%)
(主な就職、業界等) IT 業界			
(就職指導内容) 筆記試験対策・面接対策・業界研究など			
(主な学修成果(資格・検定等)) IT パスポート・基本情報技術者・応用情報技術者・イラストレーター・フォトショップ等			
(備考)(任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
20 人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 早期個人面談の実施・保護者への定期的情報伝達・兆候が認められる生徒への担任・教務部長を交えた状況確認及び個別対応		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
工　業	工業専門課程	情報システム科 ITﾋﾞｼﾞﾈｽｺｰｽ	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1711 単位時間／単位	651 単位時間 ／単位	1100 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位	0 単位時間 ／単位
			1751 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
60 人 （情報ｼｽﾃﾑ科総定員）	16 人	0 人	6 人	2 人	8 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

シラバスの作成手続きに関しては、年度前に学内の検討委員会で検討したうえで、共通のフォーマットを策定し、作成している。

また「学生の手引き」に掲載して、入学時期に行うガイダンスにおいて周知を図っている。

成績評価の基準・方法

（概要）

成績評価を A～D の 4 段階で行っている。

成績分布において、下位 4 分の 1 が D に相当する。

卒業・進級の認定基準

（概要）

【進級条件】

⑤ 1 年次の科目毎の出席率 90%以上であること

⑥ 1 年次の科目毎の成績評価がすべてＣ以上であること

⑦ 1 年次の検定取得状況が良好であること

⑧ 学費等の納入が完了していること

【卒業条件】

④ 卒業年次の出席率が 90%以上であること

⑤ 原則として、卒業年次の各科目毎の成績評価がすべてＣ以上であること

⑥ 学費等の納入が完了していること

※上記に加えて、進級・卒業条件として、該当レベルの認定試験に合格、若しくは同等レベルを要していなくてはならない。認定会議においてその認定を行う。

学修支援等

（概要）　選考料免除制度、指定校推薦制度、コスメット奨学生制度、コスメット特待生制度、マスター特待生制度、兄弟姉妹奨学生制度等により学修支援を実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
10 人 （100%）	1 人 （10%）	9 人 （90%）	0 人 （0%）
（主な就職、業界等） IT 業界			
（就職指導内容） 筆記試験対策・面接対策・業界研究など			
（主な学修成果（資格・検定等）） IT パスポート・基本情報技術者・応用情報技術者・イラストレーター・フォトショップ等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
10 人	0 人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 早期個人面談の実施・保護者への定期的情報伝達・兆候が認められる生徒への担任・教務部長を交えた状況確認及び個別対応		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務	商業実務専門課程	医療ビジネス科 医療コース	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1745 単位時間／単位	579 単位時間 /単位	1105 単位時間 /単位	61 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			1745 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
60 人 （医療ﾋﾞｼﾞﾈｽ科総定員）	39 人	0 人	5 人	4 人	9 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

シラバスの作成手続きに関しては、年度前に学内の検討委員会で検討したうえで、共通のフォーマットを策定し、作成している。

また「学生の手引き」に掲載して、入学時期に行うガイダンスにおいて周知を図っている。

成績評価の基準・方法

（概要）

成績評価をA～Dの4段階で行っている。
成績分布において、下位4分の1がDに相当する。

卒業・進級の認定基準

（概要）

【進級条件】

⑨ 1年次の各科目毎の出席率が90%以上であること
⑩ 1年次の各科目毎の成績評価がすべてC以上であること
⑪ 1年次の検定取得状況が良好であること
⑫ 学費等の納入が完了していること

【卒業条件】

⑦ 卒業年次の出席率が90%以上であること
⑧ 原則として、卒業年次の各科目毎の成績評価がすべてC以上であること
⑨ 学費等の納入が完了していること

※上記に加えて、進級・卒業条件として、該当レベルの認定試験に合格、若しくは同等レベルを要していなくてはならない。認定会議においてその認定を行う。

学修支援等

（概要） 選考料免除制度、指定校推薦制度、コスメット奨学生制度、コスメット特待生制度、マスター特待生制度、兄弟姉妹奨学生制度等により学修支援を実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18 人 （100%）	0人 （ 0%）	18 人 （ 100%）	0人 （ 0%）
（主な就職、業界等） 病院・薬局・一般企業			
（就職指導内容） 筆記試験対策・面接対策・インターンシップ事前指導など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 医療事務管理士・診療報酬請求事務能力認定試験・秘書検定・サービス接遇検定・ エクセル・ワード検定・ホスピタルコンシェルジュ検定等			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
44 人	1 人	2.3%
（中途退学の主な理由） 進路変更及び出席不良		
（中退防止・中退者支援のための取組） 早期個人面談の実施・保護者への定期的情報伝達・兆候が認められる生徒への 担任・教務部長を交えた状況確認及び個別対応		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務	商業実務専門課程	医療ビジネス科 ビジネスコース	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
			633 単位時間 /単位	1051 単位時間 /単位	61 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
2年	昼	1745 単位時間／単位	1745 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
60 人 （医療ﾋﾞｼﾞﾈｽ科総定員）	１９人	０人	５人	４人	９人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

シラバスの作成手続きに関しては、年度前に学内の検討委員会で検討したうえで、共通のフォーマットを策定し、作成している。

また「学生の手引き」に掲載して、入学時期に行うガイダンスにおいて周知を図っている。

成績評価の基準・方法

（概要）

成績評価を A～D の 4 段階で行っている。
成績分布において、下位 4 分の 1 が D に相当する。

卒業・進級の認定基準

（概要）

【進級条件】

⑬ １年次の各科目毎の出席率が 90%以上であること
⑭ １年次の各科目毎の成績評価がすべてＣ以上であること
⑮ １年次の検定取得状況が良好であること
⑯ 学費等の納入が完了していること

【卒業条件】

⑩ 卒業年次の出席率が 90%以上であること
⑪ 原則として、卒業年次の各科目毎の成績評価がすべてＣ以上であること
⑫ 学費等の納入が完了していること

※上記に加えて、進級・卒業条件として、該当レベルの認定試験に合格、若しくは同等レベルを要していなくてはならない。認定会議においてその認定を行う。

学修支援等

（概要） 選考料免除制度、指定校推薦制度、コスメット奨学生制度、コスメット特待生制度、マスター特待生制度、兄弟姉妹奨学生制度等により学修支援を実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
8人 （100%）	0人 （　0%）	8人 （　100%）	0人 （　0%）
（主な就職、業界等） 病院・薬局・一般企業			
（就職指導内容） 筆記試験対策・面接対策・インターンシップ事前指導など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 医療事務管理士・診療報酬請求事務能力認定試験・秘書検定・サービス接遇検定・ エクセル・ワード検定・ホスピタルコンシェルジュ検定など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
14人	0人	0 %
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 早期個人面談の実施・保護者への定期的情報伝達・兆候が認められる生徒への 担任・教務部長を交えた状況確認及び個別対応		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務	商業実務 専門課程	ビジネスキャリア科		

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	906 単位時間／単位	328 単位時間 /単位	529 単位時間 /単位	49 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			906 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
10 人	4 人	0 人	5 人	4 人	9 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
シラバスの作成手続きに関しては、年度前に学内の検討委員会で検討したうえで、共通のフォーマットを策定し、作成している。

また「学生の手引き」に掲載して、入学時期に行うガイダンスにおいて周知を図っている。

成績評価の基準・方法

（概要）
成績評価をA～Dの4段階で行っている。
成績分布において、下位4分の1がDに相当する。

卒業・進級の認定基準

（概要）
【進級条件】
⑰ 1年次の各科目毎の出席率が90%以上であること
⑱ 1年次の各科目毎の成績評価がすべてC以上であること
⑲ 1年次の検定取得状況が良好であること
⑳ 学費等の納入が完了していること
【卒業条件】
⑬ 卒業年次の出席率が90%以上であること
⑭ 原則として、卒業年次の各科目毎の成績評価がすべてC以上であること
⑮ 学費等の納入が完了していること
※上記に加えて、進級・卒業条件として、該当レベルの認定試験に合格、若しくは同等レベルを要していなくてはならない。認定会議においてその認定を行う。

学修支援等

（概要） 選考料免除制度、指定校推薦制度、コスメット奨学生制度、コスメット特待生制度、マスター特待生制度、兄弟姉妹奨学生制度等により学修支援を実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
3人 （100%）	0人 （　0%）	3人 （　100%）	0人 （　0%）
（主な就職、業界等） 病院、一般企業			
（就職指導内容） 筆記試験対策・面接対策・インターンシップ事前指導など			
（主な学修成果（資格・検定等）） 医療事務管理士・秘書検定・サービス接遇検定・エクセル・ワード検定など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3 人	0人	0 %
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 早期個人面談の実施・保護者への定期的情報伝達・兆候が認められる生徒への 担任・教務部長を交えた状況確認及び個別対応		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務	商業実務 専門課程	公務員科	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2126 単位時間／単位	984 単位時間 /単位	542 単位時間 /単位	600 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			2126 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40 人	41 人	0 人	4 人	4 人	8 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
シラバスの作成手続きに関しては、年度前に学内の検討委員会で検討したうえで、共通のフォーマットを策定し、作成している。

また「学生の手引き」に掲載して、入学時期に行うガイダンスにおいて周知を図っている。

成績評価の基準・方法

（概要）
成績評価をA～Dの4段階で行っている。
成績分布において、下位4分の1がDに相当する。

卒業・進級の認定基準

（概要）
【進級条件】
21　1年次の各科目毎の出席率が90%以上であること
22　1年次の各科目毎の成績評価がすべてC以上であること
23　1年次の検定取得状況が良好であること
24　学費等の納入が完了していること
【卒業条件】
⑯　卒業年次の出席率が90%以上であること
⑰　原則として、卒業年次の各科目毎の成績評価がすべてC以上であること
⑱　学費等の納入が完了していること
※上記に加えて、進級・卒業条件として、該当レベルの認定試験に合格、若しくは同等レベルを要していなくてはならない。認定会議においてその認定を行う。

学修支援等

（概要）　選考料免除制度、指定校推薦制度、コスメット奨学生制度、コスメット特待生制度、公務員科特待生制度、マスター特待生制度、兄弟姉妹奨学生制度等により修学支援を実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
公務員科			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
30人 （100%）	0人 （ 0%）	25人 （83.3%）	5人 （16.7%）
（主な就職、業界等） 官公庁・警察・消防・一般企業			
（就職指導内容） 筆記試験対策・面接対策・インターンシップ事前指導など			
（主な学修成果（資格・検定等）） エクセル・ワード検定など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
64人	0人	0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 早期個人面談の実施・保護者への定期的情報伝達・兆候が認められる生徒への 担任・教務部長を交えた状況確認及び個別対応		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
商業実務	商業実務 専門課程	公務員科		

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
1年	昼	1086 単位時間／単位	508 単位時間 /単位	278 単位時間 /単位	300 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位	0 単位時間 /単位
			1086 単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
40 人	33 人	0 人	3 人	4 人	7 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）
シラバスの作成手続きに関しては、年度前に学内の検討委員会で検討したうえで、共通のフォーマットを策定し、作成している。

また「学生の手引き」に掲載して、入学時期に行うガイダンスにおいて周知を図っている。

成績評価の基準・方法

（概要）
成績評価をA～Dの4段階で行っている。
成績分布において、下位4分の1がDに相当する。

卒業・進級の認定基準

（概要）
【進級条件】
25 1年次の各科目毎の出席率が90%以上であること
26 1年次の各科目毎の成績評価がすべてC以上であること
27 1年次の検定取得状況が良好であること
28 学費等の納入が完了していること
【卒業条件】
⑲ 卒業年次の出席率が90%以上であること
⑳ 原則として、卒業年次の各科目毎の成績評価がすべてC以上であること
21 学費等の納入が完了していること
※上記に加えて、進級・卒業条件として、該当レベルの認定試験に合格、若しくは同等レベルを要していなくてはならない。認定会議においてその認定を行う。

学修支援等

（概要） 選考料免除制度、指定校推薦制度、コスメット奨学生制度、コスメット特待生制度、公務員科特待生制度、マスター特待生制度、兄弟姉妹奨学生制度等により修学支援を実施している。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
公務員科			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
30人 （100%）	0人 （ 0%）	29人 （96.7%）	1人 （ 3.3%）
（主な就職、業界等） 官公庁・警察・消防・一般企業			
（就職指導内容） 筆記試験対策・面接対策・インターンシップ事前指導など			
（主な学修成果（資格・検定等）） エクセル・ワード検定など			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
34人	1人	2.9%
（中途退学の主な理由） 出席日数不足（本人の学習意欲低下）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 早期個人面談の実施・保護者への定期的情報伝達・兆候が認められる生徒への 担任・教務部長を交えた状況確認及び個別対応		

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 （年間）	その他	備考（任意記載事項）
情報システム科	100,000 円	590,000 円	200,000 円	
医療ビジネス科	100,000 円	590,000 円	200,000 円	
ビジネスキャリア科	100,000 円	590,000 円	200,000 円	
公務員科	100,000 円	590,000 円	180,000 円	
修学支援（任意記載事項）				

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 「令和４年度学校自己評価報告書」を学校事務室にて備え付け、公表している。
学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）
学校関係者による学校評価については「専修学校における学校評価ガイドライン」（文部科学省生涯学習政策局）に即して行うことを基本方針とする。実施方法は評価項目（教育理念・目標、学校運営、教育活動等）について学校関係者評価委員より意見を聴取した。評価結果の活用については自己評価委員会に報告し、学校全体の共通認識のもとで改善に努める。委員会体制は事務局に事務局長、学校長、教務部長、統轄部長、学科長を配置し、企業及び本校卒業生から委員６名を委嘱する。 　就職部長を責任者として、学科ごとに企業説明会を夏季休暇明けの４月～７月に実施する。統轄部長を責任者にして避難訓練を９月に実施する。また教務部長を責任者として学生の居住地でのボランティア活動を勧奨する。時期は各地域の催事（河川清掃、各種行事等）に合わせて実施する。
学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
原田株式会社　事務機部技術課課長	令和５年４月１日から 令和７年３月３１日迄	企業
矢ヶ部医院　医師	令和５年４月１日から 令和７年３月３１日迄	企業
鹿島市役所文化交流課	令和５年４月１日から 令和７年３月３１日迄	企業
株式会社ライフラインコネクト	令和５年４月１日から 令和７年３月３１日迄	企業
和食処経営	令和５年４月１日から 令和７年３月３１日迄	卒業生
華道瑩心流師範	令和５年４月１日から 令和７年３月３１日迄	企業

学校関係者評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） 「令和４年度学校関係者評価報告書」を学校事務室にて備え付け、公表している。
第三者による学校評価（任意記載事項）

ｃ）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） http://www.cosmet.ac.jp

（別紙）

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が 1 人以上 10 人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が 0 人の場合には、「0 人」と記載すること。

学校名	九州国際情報ビジネス専門学校
設置者名	学校法人九州国際学園

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		43 人	39 人	43 人
内訳	第Ⅰ区分	26 人	30 人	
	第Ⅱ区分	－人	－人	
	第Ⅲ区分	－人	－人	
家計急変による支援対象者（年間）				0 人
合計（年間）				43 人
（備考）				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第１号、第２号、第３号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	０人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定		０人	０人
修得単位数が標準単位数の５割以下（単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の５割以下）		０人	０人
出席率が５割以下その他学修意欲が著しく低い状況		０人	－
「警告」の区分に連続して該当		０人	－
計		０人	－
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間		前半期	０人	後半期	－

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	０人
３月以上の停学	０人
年間計	０人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	０人
訓告	０人
年間計	０人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の６割以下（単位制によらない専門学校に		０人	０人

あっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の６割以下）			
ＧＰＡ等が下位４分の１		－	－
出席率が８割以下その他学修意欲が低い状況		０人	－
計		－	－
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

さは，日本産業規格Ａ４とする。